

平成14年9月27日

各位

会社名 F D K株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 惟司  
(コード番号 6955 東証第一部)  
問合せ先 経理部長 川崎 健司  
TEL (03)3434-1271

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 秋草 直之  
(コード番号 6702 東証、大証、名証各市場第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年4月25日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

##### 1. 連結業績予想の修正

15年3月期中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	49,000	500	2,000	2,200
今回予想(B)	45,500	800	3,200	3,300
増減額(B-A)	3,500	300	1,200	1,100
増減率	7.1%			
(ご参考)前年同期実績	52,567	582	1,631	1,761

15年3月期通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	110,000	2,800	600	1,000
今回予想(B)	95,300	900	3,100	4,500
増減額(B-A)	14,700	1,900	2,500	3,500
増減率	13.4%	67.9%		
(ご参考)前年同期実績	100,613	226	4,071	12,308

## 2. 単独業績予想の修正

15年3月期中間期（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	38,000	900	1,980	2,000
今回予想（B）	33,000	400	2,380	2,400
増減額（B - A）	5,000	500	400	400
増減率	13.2%			
（ご参考）前年同期実績	46,714	1,335	125	105

15年3月期通期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	85,000	1,300	960	1,000
今回予想（B）	66,000	500	2,460	3,700
増減額（B - A）	19,000	800	1,500	2,700
増減率	22.4%	61.5%		
（ご参考）前年同期実績	84,581	493	2,416	11,542

## 3. 修正の理由

情報通信分野での市況低迷が長期化するなか、期初においては、当期半ばから下半期にかけて市況が回復するものと見込んでおりました。しかし、一部製品では売上を伸ばしているものの、全体としては下半期での大きな伸びは期待できないと判断しております。特に、通信市場の急激な落ち込みにより大きな影響を受けている光通信部品ビジネスについては早期の回復は見込めない状況にあります。その結果、売上高は、連結、単独とも通期で期初予想に対して大きく下回る見込みであります。また、生産の中国シフトや中国メーカーの台頭により非常に厳しい価格競争に晒されており、操業の低下に伴う原価高と重なり損益を大きく圧迫いたしました。

当社グループは、昨年度、フェライト事業の中国シフトを中心とした構造改革を実行いたしました。しかし、市況の低迷と環境の変化は当初の予想をはるかに超えたものとなっており、この環境の変化に対応し得る強い事業構造を確立することが急務となっております。そのため、国内拠点のスリム化と人員の削減を中心とした施策を実行いたします。これに伴う構造改革費用は約13億円と見込んでおり、今回の業績予想において下期に特別損失として計上しております。

（注）（別途リリース「FDKグループの変革の方向付けと事業構造改革のための施策」参照）

以 上

### （注意事項）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

本リリースは、証券取引法166条に定められた「重要事実」に該当する情報を含んでおります。本リリースをご覧になられた場合は、インサイダー取引規制に関する「第一次情報受領者となり、公開後12時間以内（日本時間2002年9月28日、午前3時頃まで）に当社株式の売買等を行うことは禁止されますのでご注意ください。